



子どもたちのSOSを 受け止められる地域に！

いじめ防止対策推進条例が、12月議会でも全会一致で可決しました。「いじめを許さない」という強いメッセージを発信し、学校におけるいじめの未然防止と、そのための組織対応について定める条例です。この条例で、いじめに苦しむ子どもたちを本当に救うことができるのか、という視点から、議会での質疑と提案を重ねてきました。

基本方針のバブコメは 2月中旬を予定

質疑を通し、「いじめは権利侵害」であることが前文に規定され、今後策定される基本方針で、支援のあり方を包括的に議論していくことが確認できました。当初予定になかった基本方針のパブリックコメントの実施が決まり、市民や当事者の意見を反映する機会が得られたのは大きな成果です。いじめは学校の中だけで起きるわけではありませぬ。放課後の子どもたちを見守るためにも、条例制定を機に、地域と学校との連携をさらに進めていきたいと思います。



市内で起きた中2男子の虐待自死事件を受け、市は教育に関する重点施策に「いじめ」と「虐待」を掲げました。いじめは教育委員会、虐待は福祉行政としてきた従来のタテワリを乗り越え、子どもへのSOSに対し、あらゆる部署が連携しながら手を差し伸べていくことで、子どもの貧困や不登校、ひきこもりの問題にも解決への一助が見出せるのではないのでしょうか。議員として地域の大人として、私も精いっぱい尽力していきます。

(かとう涼子)

「生活困窮者の就労準備 支援」の早期実施を！

2015年4月に施行された「生活困窮者自立支援法」は、生活保護に至る前に生活困窮者を救う新たなセーフティーネットとして誕生した制度です。その背景は過去最高を更新し続ける生活保護受給者数や、非正規雇用や年収200万円以下の給与所得者の増加、また高校中退・ニート・ひきこもりなど人間関係の構築がうまくいかず困窮リスクを抱えてしまう人の増加などがあげられます。保谷庁舎に「生活サポート相談窓口」が開設され、様々な問題を抱えた方の相談を受け付けています。ひと月に約40人の新規の相談があり、主な内容は生活費や就職、健康・障害に関するとのこと。市では「自立相談」と「住居確保給付金の支給」と生活困窮家庭の

学習支援として「ひきこもり・ニート対策事業」を実施しています。しかし、すぐに就労が難しい複雑な困難を抱えた人を対象にした任意事業「就労準備支援事業」は実施されていません。生活困窮者の自立と社会参加、自己実現は地域の力につながることから、実施に向けてさらに働きかけていきます。

(後藤ゆう子)



西東京市農産物キャラクター「めぐみちゃん」といっしょに。地場野菜を食べて都市農業を守ろう！

生活者ネットワーク 3つのルール

- 選挙はカンパとボランティアで行います。
- 議員は最長3期でローテーション。議員を職業化せず、誰もが議員になることで特権化しません。
- 議員報酬は市民の活動資金として使い、お金の流れは公開します。

急がれる子どもの貧困対策

2014年に「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行されました。この法律の理念である「子ども達の将来がその生まれ育った家庭の事情に左右されることのないよう、また貧困が世代を超えて連鎖することのない社会を実現すること」に大勢の方が共感しています。

市内では法律施行以前より、経済的な事情で塾に通えない子ども達へ無料で学習支援を行う団体があり、また昨年には見守りや居場所を兼ねた食事を提供する子ども食堂が複数できました。市は学習

支援の検討を始め、教育委員会はスクールソーシャルワーカーを活用して教育と福祉の連携を進めています。しかし実効があがる経済的支援については、検討されていない模様。就学援助について援助資格が生活保護法による基準額の1.5倍未満までというのは評価できません。支給金額や時期、申請主義など課題はあります。そもそも

憲法26条で義務教育は無償と規定されています。学校ごとに金額の違う制服や上履きなど保護者の負担を少しでも減らすよう点検や見直しを求めています。

(後藤ゆう子)



「憲法を守り活かそう 西東京市民パレードにて」(左:後藤ゆう子、右:かとう涼子)

議会ピックアップ

市民会館への3館合築複合化の請願・陳情5本提出

合築に反対する市民の声が12月議会に提出され、継続審査となった。中央図書館・田無公民館の移転にネットはNO！多くの市民はかやの外に置かれたまま。市民説明から一歩進めた公論形成の場が早急に必要だ。

マイナンバー条例が制定！ ネットは反対

システム維持管理に膨大な費用のかかるマイナンバー。税と社会保障の一体化を超えた利用範囲の拡大で、情報漏えいリスクはますます高まる。一体誰が責任をとれるのか？

柳泉園の焼却炉で水銀が検出された件に関する陳情にネットは賛成

9月に柳泉園の焼却炉の排ガスから高い濃度の水銀が検出された事故に対し、再発防止に向け、原因究明・今後の対策・水銀濃度の定期的公表などを求めるのは最もなことだ。建設環境委員会では採択されるも、本会議で自民・公明・民主の2人反対で否決！